

IoT ODでの産業用ワイヤレスAPのプロビジョニングモードの確認

内容

[はじめに](#)

[プロビジョニングモード](#)

[CLIからの検証](#)

[IW 9165のLEDパターン \(プロビジョニングモード\)](#)

[IW 9167のLEDパターン \(プロビジョニングモード\)](#)

[デバイスを工場出荷時のデフォルトにリセットする](#)

はじめに

このドキュメントでは、アクセスポイントをIoT ODにオンボーディングする際の、産業用ワイヤレスアクセスポイント(AP)のプロビジョニングモードについて説明します。

プロビジョニングモード

プロビジョニングモード(Provisioning Mode)は、APがDynamic Host Configuration Protocol(DHCP)を使用してネットワーク設定を要求し、IoT Operations Dashboard(IoT OD)に接続しようとする機能です。

ネットワーク接続が存在する場合、APはIoT ODに接続します。ネットワークに接続できない場合は、GUIまたはCLIを使用してAPをローカルに設定し、コンソールポートまたはSSHを使用してアクセスできます。

アクセスポイントに設定なしで電源を入れると、プロビジョニングモード(暫定モード)にデフォルト設定され、接続が成功した場合は、IoT ODからアクセスポイントに初期設定が送信されます。デバイスがプロビジョニングモードの場合、DHCPを使用してIoT ODへの接続を試みます。成功した場合は、IoT ODを使用してAPを設定できます。それ以外の場合は、192.168.0.10/24を使用してアクセスすることにより、オフラインモードでAPを設定できます。

デバイスがプロビジョニングモードであるかどうかを確認するには、フォールバックIP 192.168.b.c/48を介してデバイスにログインします。5.a.b.c形式の無線メッシュIDは、デバイスにアクセスするためのb & c値を提供します。



ULTRA RELIABLE WIRELESS BACKHAUL

IOTOD IW

Provisioning

IW-MONITOR

Disabled

IoT ODダッシュボードへの通信が成功すると、次に示すように、APからステータスが「Connected」と表示されます。

IOTOD IW Cloud connection info

Server Host: **IOTOD Industrial Wireless**

Status: **Connected**

Current IP Configuration

Current IP: 10.115.11.152 (dhcp)

Current Netmask: 255.255.0.0

DHCPサーバは、DHCP IP、デフォルトゲートウェイ、およびDNSサーバIPを割り当てます。APが米国にある場合は、USクラスタ(us.ciscoiot.com)に接続されます。

APがヨーロッパにある場合、それらはEUクラスタeu.ciscoiot.comに接続されています。

IoT ODダッシュボードへのネットワーク接続が失敗した場合、ステータスはDisconnectedと表示されます。APからdevice.ciscoiot.comまたはus.ciscoiot.comへのポート443での通信がファイアウォールでブロックされていることを確認します。ローカルIP、ゲートウェイ、およびDNSサーバIPはローカルで更新でき、無線をリブートして「プロビジョニングモード」に戻し、IoT ODに接続しているかどうかを検証します。

IOTOD IW Cloud connection info

Server Host: **IOTOD Industrial Wireless**

Status: **Disconnected**

Current IP Configuration

Current IP: 192.168.0.10 (fallback)

Current Netmask: 255.255.255.0

CLIからの検証

デバイスがプロビジョニングモードであるかどうかを確認するには、showコマンドを使用します。

```
Lab-Device# show iotod-iw status
IOTOD IW mode: Provisioning
Status: Connected
```

IW 9165のLEDパターン (プロビジョニングモード)

AP State	LED State
Fallback	Blinking amber or blue
DHCP	Amber or blue

IW 9167のLEDパターン (プロビジョニングモード)

AP State	LED State
General warning: Insufficient inline power	Cycling through red, green, and amber
Provisioning mode: Fallback	Blinking amber
Provisioning mode: DHCP	Amber
SNR(Signal to Noise Ratio) Excellent (≥ 25 dB)	Blinking green
SNR Good ($15 \leq X < 25$ dB)	Fade-in green
SNR Bad ($10 \leq X < 15$ dB)	Fade-in amber
SNR Unbearable (< 10 dB)	Fade-in red

デバイスを工場出荷時のデフォルトにリセットする

CLIから、デバイスを工場出荷時のデフォルトにリセットできます

```
Lab-device#configure factory reset config  
WARNING: "configure factory reset config" will clear config and reboot.  
Do you want to proceed? (y/n)
```

CLIコマンドでyを入力してデバイスリセットプロセスを開始するか、またはnを入力してプロセスを中断します。

DHCPサーバは、プロビジョニングモードを使用するシナリオでのみ使用されます。通常の運用では、固定IPアドレスを割り当てる必要があります。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。